

単位数	2	学科（型） 学年	建設工学科 1年	教科書 副教材等	建築構造（実教出版）
学習目標		現代社会で生活文化を支える各種の建築物の構造形式や構成材料の概略を理解する。また、木構造の部材名称や部材の働き、構成方法を理解する。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	第1章 建築構造のあらまし 1 建築構造の歴史的発達 2 建築構造のなりたち 3 建築構造の分類 4 建築物に働く力 5 関連する法規と基準 第2章 木構造 1 構造の特徴と構造形式 2 木材 3 木材の接合 4 基礎 5 軸組			・ 建築構造の歴史的発達を社会情勢や科学技術の進歩、発展などに重ね合わせて理解する。躯体に用いる材料、つくり方、形による分類について理解する。 ・ 建築用木材の種類と特徴、木材の性質、合板など木質材料の特性について理解する。基礎の形式、軸組構成を学習し、それぞれの部材の接合や断面寸法、使用材料について理解する。	
2	6 小屋組 7 床組 8 階段 9 開口部 10 外部仕上げ			・ 小屋組、床組を構成する部材の名称や働きを理解する。また、部材の一般的な断面寸法も学習する。 ・ 階段を構成する部材の名称や働きを理解する。 ・ 開口部を構成する部材の名称や働きを理解する。また、建具や建具金物の種類を学習する。 ・ 外部仕上げの役割と材料を理解する。	
3	11 内部仕上げ 12 木造枠組壁構法 矩計図			・ 内部仕上げの役割と材料を理解する。 ・ 木造枠組壁構法の特徴、構造材料の特徴、躯体の構成を理解する。 ・ 矩計図を使い、部材の名称とその断面寸法を復習する。	
評価の観点		内 容			
知識・技術		・ 建築に関わる諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付け、環境に配慮して適切に活用している。現代社会における建築物の構造や建築材料の意義や役割を理解している。			
思考・判断・表現		・ 建築物の設計や施工をする際に生じる諸問題の解決を目指して自ら思考し、判断したり創意工夫する能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現できる。			
主体的に学習に取り組む態度		・ 建築構造に関心をもち、基礎的な知識や技術の習得に意欲をもって取り組むとともに、建築物の設計や施工に活用しようとする態度を身に付けることができる。			
評価方法	学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの評価の観点で評価します。具体的には、主に「出席の状況」、「授業中の態度や取り組む姿勢」、「提出物」、「小テスト」、「定期考査」により評価します。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 定期考査は、授業の内容から出題します。 ○ 課題やノート等の提出物は、必ず提出期限を守りましょう。 ○ 授業中は先生の指示をしっかりと聞き、指示された通りの活動を行い、授業に積極的に参加してください。					